

# 都小研会報

・発行所  
 ・東京都小学校社会科研究会  
 ・東京都世田谷区等々力7-26-1  
 ・発行人 月岡正明  
 ・編集人 赤尾眞司

## 都小社研二十九年度取り組み方針

東京都小学校社会科研究会  
 世田谷区立等々力小学校校長

月岡正明



昨年度に引き続き、都小社研会長を務めることになりました月岡正明です。どうぞよろしくお願いたします

今年度の都小社研は、3月末に告示された新学習指導要領の趣旨を研究に生かすとともに、新学習指導要領でも重視されている小中連携の取り組みをさらに推進します。また、来年度からの新学習指導要領の移行期間を視野に入れた指導計画作成に取り掛かります。そのためにも、研究推進委員会の組織の強化と活性化を図り、都小社研の基盤

となる研究活動を充実させます

さらに、各地区の社会科部との連携を強め、魅力ある社会科の授業づくりのための教材や指導法などにかかわる情報を積極的に都内に発信していきます。

具体的には、以下の五つの取り組みを進めていきます。

① 新しい副主題を掲げ、新学習指導要領の趣旨を生かした研究を推進すること

研究副主題を「社会的事象の見方・考え方を働かせ、社会認識を深める学習を通して」と変更し、新学習指導要領の趣旨を生かした「教材の開発」「指導の工夫」「評価の工夫」の柱で実践を積み重ね研究を深めます。

② 新学習指導要領に対応した指導計画の作成と副読本「わたしたちの東京都」の改訂

全国に先駆けて、移行期間に対応した各学年の指導計画を作成します。また、「わたしたちの東京都」も部分改訂します。

③ 全中社研、都中社研と連携し、社会科の小中連携のあり方を検討すること

今年度も、小中社会科研究会合同研修会を開催し、小・中学校で、新学習指導要領で重視される資質・能力をどのようにして育ていくのかについて交流を持ちます。

④ 研究推進委員会の活性化と研究の充実を図ること

研究推進委員の所属感を高め、忙しくても行きたくなる魅力ある学年部会にするために、学年部会担当校長を厳選し、研究の充実を図ります。

⑤ 都内の教員に社会科の指導に関する情報を提供し、各学校での社会科授業の充実を図ること

都小社研のホームページを充実させ、社会科の魅力ある授業づくりにかかわる情報を提供するようにします。また、都小社研の研究授業には、それぞれの地区の区市町村の社会科部員が参加し学べるように積極的に呼びかけます。

今年度の都小社研の活動には是非ご期待ください。

### ご勇退役員あいさつ

#### 「社会科」との出会いに感謝

前東京都小学校社会科研究会会長  
 前葛飾区立花の小学校校長 宇田川嘉一

「ライン川は日本の川と違って、ゆっくりと流れていてね。川岸の丘には古いお城がいくつも見えるんだ。」

中学生の頃、地理的分野の授業は世界中を旅行したS先生が担当された。授業の大部分が先生の語りであったが、その授業が大好きだった。

小学生の頃から戦車や戦闘機のプラモデル作りに凝っていて、組立説明書の解説文から世界の歴史や地理について多少の知識を得ていたから、なおさらであった。教員養成系大学に進み、社会科教育を迷わずに専攻したのも、プラモデルとS先生のおかげと言ってよい。

昭和五十五年、葛飾区に採用され、それ以来十年近くは校内外とも体育部の仕事を中心であった。その後、江戸川区・中央区で社会科部に所属したが、都小社研とのご縁をいただいたのは、四〇歳を過ぎてからだ。しかし、教頭・副校長となつてから部会にも出席しにくくなってしまった。さらに病虚弱

特別支援学校の校長として三年間の単身赴任となり、都小社研とは疎遠になってしまった。

平成二十二年の四月、葛飾区内への異動が発表されるとすぐに、一本の電話がかかってきた。かつて社会科部でお世話になつたS先生（校長）からだ。以来、都小社研の活動に携わることができ、七年の月日があつという間に流れていった。

初めの五年間は全小社研事務局、その後は会長補佐の役割をいただいた。東京大会をはじめ、全国大会の運営に携わりながら、社会科教育の大きな動きを実感できたことは、教師として幸せであり、誇りでもある。

学習指導要領は「ゆとりと充実」「新しい学力観」「生きる力」「確かな学力」、そして「社会に開かれた教育課程、主体的・対話的で深い学び、カリキュラムマネジメント」と変更をみせている。今回の改訂は社会科教育をリードする都小社研にとつて強い追い風であり、大きな役割を担っている。

私は小学校現場から離れるが、学校での学びから遠ざかってしまった子供たちと共に「楽しく学びがいのある社会科授業」を創っていきたいと考えている。

平成二十九年 各部活動計画

庶務部

部長 森 清隆

新学習指導要領が公示されました。来年度からの移行期に向け、各地区との連携を深め、地区部長・地区委員会、研究会・委員会の運営の充実に努めていきます。

○月例研究会(九回)の運営

○地区部長・地区委員会(三回)

○役員・地区部長・地区委員の名簿作成、配布

○小中合同研修会(七月)の運営

○夏季研究会(八月)の準備

○箱根合宿(十二月)の運営

○活動反省と次年度計画冊子の作成

○平成三十年総会準備

会計部

部長 奥澤 弘子

総会において、平成二十八年度決算及び平成二十九年予算について承認されました。

ご協力いただきました各部・学年等関係の皆様のご協力に感

謝申し上げます。

本年度も 昨年度に引き続き、授業研究・講演会・各種研修会 研究発表等の事業に有効に予算を執行していきたいと思ひます。

渉外部

部長 赤木 勲

よろしくお願ひいたします。

都内各地区の研究動向をまとめた「各地区のすがた」や一年間の研究をまとめた研究紀要の発行、また、全小社研と関小社研を担当しています。都小社研の地区委員及び各地区の研究部長への連絡調整と、OB会員への連絡、さらに、全小社研研究会、関小社研大会等の支援を全小社研事務局、調査研究部等と連携しながら行っています。

\*「各地区のすがた」発行

\*「研究紀要第二十八集」発行

\*全小社研理事(部長が担当)

\*関小社研・東京事務局

\*OB名簿の更新・管理

\*総会、会報、全国大会や年度大会の案内送付

事業部

部長 和田 敏郎

事業部では、社会科の学習に生かせる現地での研修会(巡検)や会員の親睦を図るための行事を担当しています。

① 夏季研修会

五回です。ご参加下さい。

○後藤新平の足跡

七月二十五日(火)

副読本「わたしたちの東京都」には、関東大震災からの復興を担った人物として後藤新平が載っています。後藤新平と関係の深い、復興小学校、復興橋梁、東京都復興記念館を巡ります。

○製鉄工場見学

七月二十六日(水)

JFEスチール東日本製鉄所と関連施設を見学します。迫力のある製造工程が見られます。

○製紙工場見学

七月二十七日(木)

特殊東海製紙株式会社・三島工場を見学します。偽造防止用紙など特殊な紙の工場です。

○酪農・乳業施設見学

七月二十七日(木)

那須高原の酪農施設と牧場等を見学します。体験を通して日本酪農について考えます。

石油精製工場・見学

七月三十一日(月)

東亜石油京浜製油所と東京港海事施設を見学します。石油と海運の研修ができます。

② 国土探究の会

八月六日(日)～八月八日(火)

北九州を巡ります。

③ 全小社研奈良大会後の巡検

十月二十七日(金)～

十月二十八日(土)

広報部

部長 赤尾 眞司

広報部は、会報の発行とホームページの充実を目指して活動しています。本年度は、都小社研会報の第一八六号(都小社研各部活動計画等)、一八七号(奈良大会報告等)、一八八号(都小社研研究発表会報告等)を、全小社研会報は第九八号(奈良大会に向けて)と、九九号(各都道府県の動向等)の発行を予定しています。

また、都小社研ホームページでは、これまで発行した会報、研究授業での指導案、研究会の案内等を発信していきます。

研究に関わる先生方への情報提供をしまりたいと考えています。

全小社研

事務局長 西脇 裕高

さる六月二日(金)、日本出版クラブ会館において、第百二回理事会を開催され、今年度の組織・事業計画・予算、が承認されました。また全国大会の案内が行われました。

平成二十九年役員

会長 月岡 正明(東京)

副会長 吉村 潔(東京)

新保 元康(北海道)

菱沼 伸一(宮城)

西川 健二(神奈川)

浅永 剛司(石川)

中村 好孝(名古屋)

豊田 雅弘(大阪)

奥村 忠孝(島根)

上田 康裕(徳島)

原口 弘之(佐賀)

新井 篤志(神奈川)

齋藤 涼子(東京)

常任理事 駒野眞理子(東京)

事務局長 西脇 裕高(東京)

次長 諸角 哲男(東京)

三好 浩一(東京)

佐藤 友信(東京)  
 調研部長 吉藤 玲子(東京)  
 会報部長 赤尾 眞司(東京)

二 全国大会

第五十五回 奈良大会

・十月二六日(木)二七日(金)

「自ら学びを深め、よりよい社会の形成に参画する力を育てる社会科学習く人の営みに学び、ねり合つ学習を通して」

三 個人研究論文の募集

・締切 三十年一月二十六日

・主題 「学習指導要領の具現化を目指す社会科指導の工夫」

四 調査・研究・刊行等

・会報九十八号、九十九号

・各地域の動向 二十九年度版

・研究集録 第五十三集

五 大会開催の案内・承認

第五十六回 埼玉大会案内

三十年度 大分大会案内

・理事会に引き続き、文部省視学官澤井陽介先生による教育講演会が開催されました。新

学習指導要領の告示を受け、これからの社会科教育の動向について内容の濃いご講演を

いただきました。

調査研究部 活動計画

部長 吉藤 玲子

一 研究の重点

平成二十九年度の研究主題は、「よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培う社会科教育く社会的事象の見方・考え方を働かせ、社会認識を深める学習を通して」と設定しました。今まで都小社研が取り組んできた研究のよさを生かしながら、平成三十五年度の全国大会を見据え新しい学習指導要領に基づいた研究を進めていきます。そこで、次期学習指導要領で言われている資質・能力の育成、社会的な見方・考え方の視点、「問い」の視点などを取り入れた研究構想図を新しく作成しました。目指す児童像を「社会的事象の見方・考え方を働かせてよりよい社会を問い続け、社会生活についての理解を深め、社会に関わろうとする子供」としました。単元の構造や獲得したい知識・概念を明確にするために、教材構造図を作成し、中心概念に迫る「問い」の構造について考えていくようにしまし

た。また、今まで都小社研が取り組んできた「ふかめる」段階

は、新学習指導要領では、「ま

める」段階までで達成すると考

え、新しく「いかす」段階を単

元によって設けることにしまし

た。「いかす」段階では、既習し

たことを基に社会に見られる課

題の解決について構想したり、

自分の関わり方を選択・判断し

たりする学習を行っていきます。

研究の重点としては、

①社会生活についての理解を深

め、社会との関わりを見つめ

直す教材の工夫

時間的、空間的、相互関係的

な視点から視野を広げる教材の

開発。人間の働きに着目して

人々と生活の関連に共感的に迫

る教材の開発。

②社会的事象の見方・考え方(追

究の視点と方法)を働かせて

追究する指導の工夫

問題解決的な学習の展開に即

した「問い」の構造化。問題解

決の中で対話的に学び、多角的

に考える学習活動の工夫。

③児童に育成される資質・能力

の評価方法

学びの過程や結果に着目した

思考力・判断力・表現力の評価

方法の工夫。

の三点があげられます。

二 主な取り組み

①学年研究部会の充実

各地区より推薦された研究推

進委員が学年部会を編成し研究

を進めます。学年部会では、年

間二本以上の授業実践を通して

研究を進めていきます。本年度

は理論担当の役員校長を各学年

に配置しました。月例研究会後

の研究推進委員会では、全体

会・学年研究部会を設け授業研

究の充実を図っていきます。

②指導計画の作成

来年度からの移行期間に間に

合うように新学習指導要領に準

じた各各学年の具体的な指導計

画を今年度内に作成し、配布し

ます。全国に先駆けて東京都は

行っています。

③夏季研究会の実施

各学年研究部会の研究を充実

させるとともに、都小社研の実

践を広く全都に紹介することを

目的として、本年度も夏季研究

会を開催します。

④月日 八月十八日(金)

⑤月日 八月十八日(金)

⑥月日 八月十八日(金)

場所 豊島区立

池袋第三小学校

内容 (午前)

講演・講師

「楽しく学んで

確かに理解する社会科」

澤井 陽介 先生

○ワークショップ1

「学年別二学期

社会科授業のポイント」

(午後)

○ワークショップ2

「課題別二学期

社会科授業のポイント」

・学習問題づくり

・話合いのさせ方

・教科書の使い方

・ノートや作品のまとめ方

○各学年部会による実践紹介

④研究発表会

本年度のまとめを行います。

研究授業の後、各学年部会が一

年間の研究について報告します。

⑤月日 二月二十三日(金)

⑥月日 二月二十三日(金)

場所 世田谷区立

等々力小学校

参加

・奈良大会

十月二十六日(木)

〓二十七日(金)

課題提案 四年部会

⑥研究紀要授業実践シリーズ

「新しい授業の創造」

第二十一集の作成

平成28年度 収支決算書

都小社研平成29年度組織一覧

1. 収入の部

単位=円

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 備考. Rows include 会費, 東京都教職員研修センター研究奨励費, 寄付金, 雑収入, 前年度繰越金, その他, 合計.

2. 支出の部

単位=円

Table with 5 columns: 科目, 目, 予算額, 決算額, 備考. Rows include 研究大会および研修会 (諸謝金, 旅費, 借料・損料, 印刷製本費, 会議費, 消耗品, 通信運搬費), 研究調査 (諸謝金, 旅費, 資料費, 印刷製本費, 賃金, 会議費, 消耗品費, 通信運搬費), 研究用図書 (図書購入費, 小計), 研究成果刊行 (印刷製本費, 通信運搬費, 小計), その他の事業費事務局費, 合計.

次年度繰越金 1,500,495円-1,500,414円=81円

平成29年度 収支予算

1. 収入の部

単位=円

Table with 5 columns: 科目, 目, 予算額, 備考. Rows include 会費, 東京都教職員研修センター研究奨励費, 寄付金, 雑収入, 前年度繰越金, その他, 合計.

2. 支出の部

単位=円

Table with 5 columns: 科目, 目, 予算額, 備考. Rows include 研究大会および研修会 (諸謝金, 旅費, 借料・損料, 印刷製本費, 会議費, 消耗品費, 通信運搬費), 研究調査 (諸謝金, 旅費, 資料費, 印刷製本費, 賃金, 会議費, 消耗品費, 通信運搬費), 研究用図書 (図書購入費, 小計), 研究成果刊行 (印刷製本費, 通信運搬費, 小計), 事務局費, 合計.

1. 役員

Table with 4 columns: 職名, 氏名, 所属校. Rows include 会長 (月岡正明), 副会長 (吉村潔), 副会長 (駒野真理子), 副会長 (不破淳一), 会計監査 (齊藤涼子), 現役顧問 (坂本正彦), 監事 (佐藤強), 監事 (清水一臣).

●再任用役員

Table with 4 columns: 職名, 氏名, 所属校. Rows include 監事 (喜多村晃), 監事 (橋浦義之), 監事 (嶋田英樹), 監事 (次岡孝幸), 監事 (亀山桂子).

2. 部長・副部長

Table with 4 columns: 役職, 氏名, 所属校. Rows include 庶務 (部長 森清隆, 副部長 小堂十), 会計 (部長 奥澤弘子, 副部長 中嶋太), 調査研究 (部長 吉藤玲子, 副部長 和田幹夫), 事業 (部長 和田敏郎, 副部長 杉洵尚), 渉外 (部長 赤木勲, 副部長 小林勝人), 広報 (部長 島川浩一, 副部長 赤尾眞司), 報 (部長 澤田純二, 副部長 西谷秀幸), 全小社研 (情報担当 小澤伸生, 事務局 西脇裕高, 次長 諸角哲男, 次長 三好浩一, 次長 佐藤友信).

●指導計画作成担当

Table with 4 columns: 指導計画, 氏名, 所属校. Rows include 伊東悌夫 (台東・東浅草小), 柿崎洋一 (日の出・平井小), 齊藤幸之介 (港・芝小), 佐藤門太 (清瀬・清瀬第八小), 村松良臣 (北・豊川小).

あとがき

今年度は、新学習指導要領の周知の年になります。新たな学習内容が示され、それをどのように教材化して、子供たちの学びとしていくのか、学びの方法や内容の検討、指導計画の作成等が必要になってきます。

都小社研は、就任二年目を迎える月岡正明会長のもと、新しい体制が発足しました。これまでの諸先輩方の社会科への思いや願いを引き継ぎ、東京都の社会科教育のさらなる充実に向けて、力を尽くしたいと思います。

都小社研のホームページ ご活用下さい。

http://www.geocities.jp/toshaken05/index.html